

事業報告書  
令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

（１）農作物共済関係  
（引 受）

年産	共済目的等		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
令和元 年産	水稲	一筆方式	人 21,125	a 1,657,922.5	円 9,680,183,097	円 18,433,690	円	円
		半相殺方式	230	26,258.5	179,410,521	612,103		
		全相殺方式	9	2,306.5	17,584,000	73,001		
		品質方式	25	2,353.8	18,673,838	150,536		
		地域インデックス方式	106	10,953.3	88,789,184	48,317		
		計	21,495	1,699,794.6	9,984,640,640	19,317,647	14,154,322	33,471,969
	麦	一筆方式	79	34,587.5	84,545,539	1,426,016		
		半相殺方式	2	111.7	201,110	2,400		
		災害収入共済方式	71	182,217.5	695,692,521	21,531,304		
		計	152	216,916.7	780,439,170	22,959,720	15,092,227	38,051,947
	合計		延 21,647 実 21,105	1,916,711.3	10,765,079,810	42,277,367	29,246,549	71,523,916
令和 2 年産	麦	一筆方式	61	32,552.5	81,585,068	1,327,742		
		半相殺方式	4	538.9	1,075,975	8,536		
		災害収入共済方式	49	173,813.9	699,692,667	21,991,843		
		地域インデックス方式	1	57.9	214,650	45		
		小計	115	206,963.2	782,568,360	23,328,166	12,324,119	35,652,285
共済目的	事 項		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
水稲	前年度対比 (%)		58.0	61.3	62.8	61.6	53.0	57.7
	事業計画対比 (%)			86.3	87.3	84.1	70.3	85.8
麦 (2年産)	前年度対比 (%)		75.7	95.4	100.3	101.6	81.7	93.7
	事業計画対比 (%)			85.5	91.2	93.1	107.9	97.7

引受状況

【水稲】 令和元年度より当然加入制が廃止されたことにより、引受戸数が21,495戸で前年対比58.0%（15,537戸減）、引受面積が1,699,764.6aで前年対比61.3%（1,073,557.4a減）と大きく減少した。また、一筆方式を基本引受方式として全支所で引受を行い、組合員の概ねは一筆方式を選択した一方で、半相殺方式・全相殺方式・地域インデックス方式・品質方式でも引受を行った。

なお、収入保険へ加入した者は、個人経営体で129戸、法人経営体33戸の合計162戸で、面積は個人経営体で606ha、法人経営体で799haの合計1,405haとなった。

【麦】 （令和2年度）

引受戸数は115戸で、前年対比75.7%（37戸減）、引受面積は206,963.2aで前年対比95.4%（9,953.5a減）であった。

なお、収入保険へ移行した者は、個人経営体で29戸、法人経営体で32戸の合計61戸で、面積は個人経営体で13,530.2a、法人経営体で68,844.4aの合計82,374.6aとなった。

(被 害)

年産	共済目的等		被害組員数	共済金	共済金 共済金額
令和元年産	水稻	人	円	%	
		一筆方式	1,191	76,026,059	0.79
		半相殺方式	12	657,352	0.37
		全相殺方式	0	0	0.00
		品質方式	3	137,240	0.73
		地域インデックス方式	1	88,528	0.10
		小計	1,207	76,909,179	0.77
	麦	一筆方式	6	275,643	0.33
		半相殺方式	0	0	0.00
		災害収入共済方式	2	129,780	0.02
		小計	8	405,423	0.05
	合 計		1,215	77,314,602	0.72

(参考)

	事項	被害組員数	共済金
水稻	前年度対比 (%)	62.4	31.6
	1組員当たり(円)		63,719

(参考)

	事項	被害組員数	共済金
麦	前年度対比 (%)	16.3	1.7
	1組員当たり(円)		50,678

被害の概況

【水稻】 全方式において、早生品種を主に8月の台風10号による強風・降雨による倒伏が発生した。山間部では県内全域で7月下旬から10月下旬にかけてイノシシによる踏み荒らし及び食害が発生した。また、県中南部では中晩生品種を中心に、トビイロウンカによる吸汁被害による坪枯れが発生した。県南部では移殖直後におけるスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）による食害も発生した。農林水産省公表による10a当たり収量は、南部525kg（作況指数98）、中北部504kg（同98）、県計517kg（同98）となった。

【麦】 一筆方式・災害収入共済方式において、12月～1月及び3月に断続的な降雨があったことにより、排水対策等（明渠・暗渠）を行っているものの、土壌の過湿状態が続いたため、根痛みによる生育不良から、草丈が低くなった。最終的には穂数の減少や短穂となり収量が低下した。また、災害収入共済方式において、4月下旬の強風と断続的な降雨により倒伏が発生し、登熟が遅れ減収となり、一筆半損被害として共済金を支払った。農林水産省公表による10a当たり収量の平年対比は、小麦146%、二条大麦126%、はだか麦174%であった。

(支 払)

年産	共済目的等		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共済金
					保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
令和元年産	水稻	一筆方式	12月20日、2月28日	76,026,059	円	円	円	円	円	円
		半相殺方式	12月 20日	657,352	0	0	0	0	0	0
		品質方式	2月 28日	137,240	0	0	0	0	0	0
		地域インデックス方式	2月 28日	88,528	0	0	0	0	0	0
		小計		76,909,179	0	33,471,969	43,437,210	0	0	100.0
	麦	一筆方式	8月 30日	275,643	0	0	0	0	0	0
		災害収入共済方式	11月 22日	129,780	0	0	0	0	0	0
		小計		405,423	0	405,423	0	0	0	100.0
	合 計			77,314,602	0	33,877,392	43,437,210	0	0	100.0

(2) 家畜共済関係

(引 受) 農業災害補償法(旧法)の規定により成立した家畜共済の共済関係

項目 区分	有資格頭数	引受頭数	共済金額	徴収共済掛金	納入保険料	交付金	手持共済掛金
	頭	頭	千円	円	円	円	円
乳牛の雌等	(0)	(188)					
	0	437	54,462	787,585	0	162,258	949,843
肉用牛等	(0)	(0)					
	0	0	0	0	0	0	0
一般馬	0	0	0	0	0	0	0
種豚	0	0	0	0	0	0	0
肉豚	0	0	0	0	0	0	0
計	(0)	(188)					
	0	437	54,462	787,585	0	162,258	949,843

( )内は、胎児で内数

引受概況

乳牛の雌等の追加引受のみがあり、引受戸数は延べ11戸、引受頭数は437頭(胎児188頭を含む)で、共済金額は、54,462千円であった。

(引 受) 農業保険法(新法)の規定により成立した家畜共済の共済関係

項目 区分		有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数 事業計画頭数	共済金額	徴収共済掛金	納入保険料	交付金	手持共済掛金
死亡廃用共済	頭	頭	頭	%	千円	円	円	円	円	円
	搾乳牛	16,012	15,265	15,028	98.4	4,486,408	159,142,649			
	繁殖用雌牛	5,487	4,942	4,905	99.3	1,232,050	11,368,167			
	育成乳牛 (子牛等)	8,545	8,339	7,754	93.0	1,937,054	14,257,020			
			(3,441)	(1,440)						
	育成・肥育牛 (子牛等)	46,477	22,461	28,914	128.7	5,050,338	53,392,743			
			(9,641)	(5,024)						
	育成・肥育馬	1	1	1	100.0	126	761			
	種豚	3,693	0	0	0.0	0	0			
	肉豚	31,081	0	0	0.0	0	0			
計	111,296	51,008	56,602	111.0	12,705,976	238,161,340				
疾病傷害共済	乳用牛	15,144	15,062	15,227	101.1	411,532	153,681,560			
	肉用牛	31,628	12,535	19,165	152.9	202,846	47,469,883			
	一般馬	1	1	1	100.0	7	1,689			
	種豚	3,693	0	0	0.0	0	0			
	計	50,466	27,598	34,393	124.6	614,385	201,153,132			
合計		161,762	78,606	90,995	115.8	13,320,361	439,314,472	0	439,152,691	878,467,163

( ) 内は、子牛等で内数

引受概況

ア 死亡廃用共済の引受戸数は、1,235戸(搾乳牛200戸、繁殖用雌牛334戸、育成乳牛200戸、育成・肥育牛500戸、育成・肥育馬1戸)であった。

疾病傷害共済の引受戸数は、723戸(乳用牛213戸、肉用牛509戸、一般馬1戸)であった。

イ 死亡廃用共済の引受頭数は、56,602頭、疾病傷害共済の引受頭数は、34,393頭であった。

ウ 死亡廃用共済の共済金額は、12,705,976千円、疾病傷害共済の共済金額は、614,385千円であった。

(事 故) 農業災害補償法(旧法)の規定により成立した家畜共済の共済関係

区分 \ 項目	死亡廃用事故				病傷事故	
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金	件 数	支払共済金
	頭	頭	頭	円	件	円
乳 牛 の 雌 等	(207) 351	(1) 227	(208) 578	74,400,925	6,139	78,461,940
肉 用 牛 等	(104) 151	(1) 38	(105) 189	25,237,427	2,704	29,237,700
一 般 馬	0	0	0	0	0	0
種 豚	0	0	0	0	0	0
肉 豚	0	0	0	0	0	0
計	(311) 502	(2) 265	(313) 767	99,638,352	8,843	107,699,640

( )内は、胎児で内数

事故発生概況

【死亡廃用事故】

死亡廃用事故頭数は767頭(乳牛の雌等で578頭、肉用牛等で189頭)であった。

支払共済金は、99,638,352円(乳牛の雌等で74,400,925円、肉用牛等で25,237,427円)であった。

【病傷事故】

病傷事故件数は8,843件(乳牛の雌等で6,139件、肉用牛等で2,704件)であった。

支払共済金は、107,699,640円(乳牛の雌等で78,461,940円、肉用牛等で29,237,700円)であった。

(事 故) 農業保険法(新法)の規定により成立した家畜共済の共済関係

区分 \ 項目	死亡廃用共済			
	死亡頭数	廃用頭数	総頭数	支払共済金
搾乳牛	頭 595	頭 567	頭 1,162	円 289,298,451
繁殖用雌牛	42	31	73	16,497,313
育成乳牛 (子牛等)	312 (271)	14	326	28,372,186
育成・肥育牛 (子牛等)	919 (799)	49	968	103,310,130
育成・肥育馬	0	0	0	0
種豚	0	0	0	0
肉豚	0	0	0	0
計	1,868	661	2,529	437,478,080

( )内は、子牛等で内数

区分 \ 項目	疾病傷害共済	
	件数	支払共済金
乳用牛	件 17,945	円 242,273,054
肉用牛	9,429	97,861,488
一般馬	0	0
種豚	0	0
計	27,374	340,134,542

事故発生概況

【死亡廃用共済】

死亡廃用事故頭数は2,529頭(搾乳牛1,162頭、繁殖用雌牛73頭、育成乳牛326頭、育成・肥育牛968頭)であった。

支払共済金は437,478,080円であった。

【疾病傷害共済】

病傷事故件数は27,374件(乳用牛17,945件、肉用牛9,429件)であった。

支払共済金は340,134,542円であった。

(損害防止)

実 施 項 目		対象頭数又は戸数		経費概算	摘 要
特定損害防止		頭 5, 823		円 24, 588, 220	実施期間 令和元年6月～令和2年1月 重点事項 繁殖障害・周産期疾患・乳房炎・運動器疾患
一 般 損 害 防 止 (診療所)	代謝プロファイル テスト (健康検査)	乳 牛	0 頭	3, 666, 851	重点事項 血液生化学的検査 血液理学的検査 飼養管理改善指導
		肉 牛	306 頭		
	繁 殖 管 理 (繁殖検診)	乳 牛	1, 987 頭	1, 409, 536	重点事項 繁殖成績改善 繁殖障害防除
		肉 牛	739 頭		
	乳質改善	乳 牛	20 頭	7, 664	重点事項 乳房管理（体細胞数の改善） 搾乳手技改善指導 乳汁細菌感受性検査
		肉 牛	0 頭		
	その他の 農家指導	乳 牛	40 頭	724, 675	重点事項 バーンミーティング等 (牛舎内での飼養管理の検討等)
		肉 牛	35 頭		
	ワクチネーション	乳 牛	8, 581 頭	0	重点事項 乳牛・肉用牛の異常産予防 肉用牛の呼吸器疾患予防
		肉 牛	10, 419 頭		
	計			5, 808, 726	
一 (支 損 害 防 止 所)	予防衛生措置	乳 牛	199 戸	4, 648, 061	重点事項 第1胃疾患の予防、子牛の下痢予防 消化器疾患の予防、繁殖障害の予防 運動器疾患の予防、尿石症の予防 低カルシウム血症の予防等
		肉 牛	366 戸		
	計			4, 648, 061	
合計				35, 045, 007	

## (診 療 所)

項 目 診 療 所 名	職 員 数	管 内		診 療 件 数		損 害 防 止 事 業			摘 要
		有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	一 般	特 損	経費概算	
	人	頭	頭	件	件	頭	頭	円	
生 産 獣 医 療	5	1,935	1,848	1,436	345	1,603	571	2,820,076	
南 部	4	9,040	1,323	1,465	565	1,522	660	2,681,132	
西 部 基 幹	8	11,024	8,113	3,273	746	1,988	1,094	5,282,015	
西 部	4	8,949	4,989	2,934	507	3,420	594	3,816,230	
真 庭	3	2,088	1,905	1,285	280	2,272	649	2,786,510	
蒜 山	6	3,278	3,650	3,064	601	2,418	572	3,385,067	
北 部 基 幹	8	14,152	12,565	6,621	1,392	8,904	1,683	9,625,916	
合 計	38	50,466	34,393	20,078	4,436	22,127	5,823	30,396,946	

前 年 度 実 績	41	48,011	34,210	21,079	4,015	26,208	6,172	33,702,880	
増 減	△ 3	2,455	183	△ 1,001	421	△ 4,081	△ 349	△ 3,305,934	

1. 有資格頭数、加入頭数に肉豚及び胎児は含まない。
2. 損害防止実施頭数は延頭数
3. 職員数は令和2年3月31日現在



(3) 果樹共済関係  
(引 受)

年度	果樹区分		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
平成30年度 (令和元年産)	ぶどう		人	a	円	円	円	円
		半相殺減収総合一般方式	233	4,214.7	366,347,000	2,627,732	510,885	
		半相殺減収総合短縮方式	35	690.5	56,205,000	283,029	124,465	
		災害収入共済方式	147	4,316.1	312,187,000	1,968,382	846,290	
		樹園地減収総合一般方式	33	818.5	58,026,000	273,429	151,839	
		樹園地減収総合短縮方式	2	54.0	4,000,000	11,027	9,765	
		計	450	10,093.8	796,765,000	5,163,599	1,643,244	6,806,843
	もも	半相殺減収総合一般方式	11	302.6	13,222,000	210,879	△ 7,504	
		半相殺減収総合短縮方式	50	1,368.5	51,670,000	671,661	212,942	
		災害収入共済方式	5	174.0	6,260,000	155,838	△ 63,889	
		樹園地減収総合短縮方式	12	286.6	9,303,000	77,269	58,736	
		計	78	2,131.7	80,455,000	1,115,647	200,285	1,315,932
	合計		528	12,225.5	877,220,000	6,279,246	1,843,529	8,122,775
令和元年度 (令和2年産)	ぶどう	半相殺減収総合一般方式	187	3,299.4	289,340,000	1,496,171	1,086,797	
		半相殺減収総合短縮方式	27	528.8	42,724,000	193,855	136,302	
		災害収入共済方式	121	3,189.3	237,137,000	1,208,384	625,549	
		樹園地減収総合一般方式	23	584.8	41,053,000	174,434	151,620	
		樹園地減収総合短縮方式	2	52.0	4,558,000	11,978	11,172	
		計	360	7,654.3	614,812,000	3,084,822	2,011,440	5,096,262
		対前年度 増減	△ 90	△ 2,439.5	△ 181,953,000	△ 2,078,777	368,196	△ 1,710,581
	もも	半相殺減収総合一般方式	6	181.0	9,811,000	189,491	105,293	
		半相殺減収総合短縮方式	42	1,185.5	45,942,000	561,134	373,435	
		災害収入共済方式	4	136.0	4,006,000	88,045	△ 31,792	
		樹園地減収総合短縮方式	9	278.6	9,161,000	81,202	64,462	
		計	61	1,781.1	68,920,000	919,872	511,398	1,431,270
		対前年度 増減	△ 17	△ 350.6	△ 11,535,000	△ 195,775	311,113	115,338
	合計		421	9,435.4	683,732,000	4,004,694	2,522,838	6,527,532

引受状況（令和2年産）

引受戸数はぶどうで360戸、前年対比で80%（90戸減）、ももで61戸、前年対比78.2%（17戸減）、引受面積はぶどうで7,654.3a、前年対比75.8%（2,439.5a減）、ももで1,781.1a、前年対比83.6%（350.6a減）であった。また、令和2年産からの収入保険への移行は、ぶどうで49戸（引受面積1,465.6a）、ももで2戸（引受面積84.3a）となった。

(被 害)

年産	果樹区分		被害組合員数	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$
令和 元年産	ぶ ど う		人	円	%
		半相殺減収総合一般方式	6	1,132,400	0.3
		半相殺減収総合短縮方式	0	0	0.0
		災害収入共済方式	29	12,238,368	3.9
		樹園地減収総合一般方式	1	65,130	0.1
		樹園地減収総合短縮方式	0	0	0.0
	小計		36	13,435,898	1.7
	も も	半相殺減収総合一般方式	0	0	0.0
		半相殺減収総合短縮方式	2	239,700	0.5
		災害収入共済方式	0	0	0.0
		樹園地減収総合短縮方式	0	0	0.0
		小計	2	239,700	0.3
	合計		38	13,675,598	1.6

(参考)

	事項	被害組合員数	共済金
ぶどう	前年度対比(%)	257.1	201.3
	1組合員当たり(円)		373,219

(参考)

	事項	被害組合員数	共済金
もも	前年度対比(%)	25.0	44.1
	1組合員当たり(円)		119,850

被害の概況

- 【ぶどう】 平成30年7月豪雨で旭川が越水したことにより、県南部で樹の再生が不可能となったため、令和元年産においても水害での支払いがあった。  
令和元年5月8日早朝の低温に伴う凍霜害により、県中北部において、くぼ地や傾斜地の下部等で新梢や花穂が枯死した。また、県北部では平成30年9月の台風24号による風害、令和元年5月20日の突風による風害が発生した。  
その他、一部の地域では風害や7月下旬以降の夜温が高かったことによる高温障害（着色不良）やサルやアナグマによる食害も発生した。

- 【もも】 せん孔細菌病が前年同様に早い時期から散見され、葉や新梢だけでなく果実への発病も目立った。  
また、春先にケムシ類が多く発生しており、一部の園地ではモモチョッキリゾウムシによる被害が発生した。

参考（平成30年産 被害実績）

果樹区分		被害組合員数	共済金	保険金
ぶ ど う		人	円	
	半相殺減収総合一般方式	8	4,649,560	
	半相殺減収総合短縮方式	1	0	
	災害収入共済方式	3	1,724,777	
	樹園地減収総合一般方式	3	300,380	
	樹園地減収総合短縮方式	0	0	
計		14	6,674,717	3,263,940
も も	半相殺減収総合一般方式	1	51,000	
	半相殺減収総合短縮方式	4	181,400	
	災害収入共済方式	1	142,769	
	樹園地減収総合短縮方式	2	168,410	
	計	8	543,579	380,505

(支 払)

果樹区分		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
				保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	
ぶどう			円	円	円	円	円	円	%
	半相殺減収総合 一般方式	12月10日	1,132,400	256,176	876,224	0	0	0	100.0
	半相殺減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	災害収入 共済方式	3月10日	12,238,368	8,255,896	2,814,672	1,167,800	0	0	100.0
	樹園地減収総合 一般方式	12月10日	65,130	0	65,130	0	0	0	100.0
	樹園地減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	計		13,435,898	8,512,072	3,756,026	1,167,800	0	0	100.0
もも	半相殺減収総合 一般方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	半相殺減収総合 短縮方式	12月10日	239,700	0	239,700	0	0	0	100.0
	災害収入 共済方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	樹園地減収総合 短縮方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	計		239,700	0	239,700	0	0	0	100.0
合 計			13,675,598	8,512,072	3,995,726	1,167,800	0	0	100.0

【損害防止】

加入園を対象に土壌分析を実施、土壌診断処方箋を作成し、組合員に提供した。また、病虫害発生予察、気象情報、技術情報を支所等へ情報伝達した。

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

項目 畑作物区分		組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
大豆		人	a	円	円	円	円
	半相殺・一筆方式	483	17,418.2	100,861,879	5,580,234		
	全相殺方式	20	2,448.7	11,542,410	450,424		
	地域インデックス方式	2	82.5	765,525	18,077		
	計	延 505	19,949.4	113,169,814	6,048,735		
		実 474					
秋植え ばれいしょ	全相殺方式	実 9	141.0	2,378,442	110,217		
	計	実 9	141.0	2,378,442	110,217		
合 計		延 514	20,090.4	115,548,256	6,158,952	3,824,996	9,983,948
		実 483					

共済目的	事項	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金	交付金又は納入保険料	手持共済掛金
大豆	前年度対比 (%)	102.8	86.9	92.0	105.6		
	事業計画対比 (%)	—	86.4	91.4	97.1		
秋植え ばれいしょ	前年度対比 (%)	100.0	94.6	93.4	107.7		
	事業計画対比 (%)	—	94.0	93.4	89.6		
合 計	前年度対比 (%)	102.8	87.0	92.0	105.6	161.8	121.8
	事業計画対比 (%)	—	86.4	91.4	96.9	102.4	98.9

引受状況

【大豆】

引受戸数は、505戸（前年対比19戸増）となり、引受面積は、19,949.4a（前年対比2,995.2a減）となった。引受方式の選択状況は「一筆方式」を選択した農業者が約9割を占め、「半相殺方式」、「全相殺方式」、「地域インデックス方式」は約1割程度に止まった。白大豆（1類）については、引受戸数は前年と同じ、引受面積は前年対比で4,623.9a減少し、黒大豆（2類及び6類）については、引受戸数・引受面積共に前年対比で19戸、1,628.7a増加した。

また、収入保険に加入した者は、個人経営体で25戸、2,996.9a、法人経営体で12戸、7,329aとなり、合計で37戸、10,325.9aとなった。

【秋植えばれいしょ】

引受戸数は9戸で、引受面積は141.0aとなり、引受戸数は前年と同じ、引受面積は前年対比で8.0a減少した。

(被 害)

項目 畑作物区分		被害組合員数	共済金	共 済 金 共済金額
大豆	半相殺・一筆方式	人 220	円 20,431,802	% 20.3
	全相殺方式	11	1,768,778	15.3
	地域インデックス方式	0	0	0.0
	計	231	22,200,580	19.6
秋植え ばれいしょ	全相殺方式	3	208,141	8.8
	計	3	208,141	8.8
合 計		234	22,408,721	19.4

	事項	被害組合員数	共済金
大豆	前年度対比 (%)	97.5	90.5
	1組合員当たり (円)		96,106
秋植えばれいしょ	前年度対比 (%)	60.0	37.6
	1組合員当たり (円)		69,380

被害の概況

【大豆】

播種期となる6月下旬から7月下旬にかけての降雨で過湿状態が続いたため、発芽不良が発生した。また、7月下旬から8月上旬にかけての極端な高温・乾燥により、干害が発生し着莢が悪くなった。また、台風10号（8月15日）・台風19号（10月12日）通過に伴う強風及び降雨により倒伏、落花及び落莢等の風水害が発生した。一部山間部においてはイノシシ・シカ・サル・ウサギ等の獣害が発生した。

農林水産省公表による10a当たり収量の平年対比は、72%であった。

【秋植えばれいしょ】

9月上旬が高温で推移したため、9月に植付けを行ったものについて土中で種芋が腐敗し、萌芽不良が発生した。また、萌芽したものについても、高温により虚弱となり生育不良が発生した。一部圃場ではイノシシによる獣害、モザイク病等の病害が発生した。

(支 払)

項目 畑作物区分		支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金
				保険金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	その他	共済金
大豆	半相殺・一筆方式	3月27日	円 20,431,802	円 9,206,135	円 9,274,827	円 1,950,840	円 0	円 0	% 100.0
	全相殺方式	3月27日	1,768,778	1,070,336	542,146	156,296	0	0	100.0
	地域インデックス方式	-	0	0	0	0	0	0	-
	計		22,200,580	10,276,471	9,816,973	2,107,136	0	0	100.0
秋植え ばれいしょ	全相殺方式	3月27日	208,141	47,521	154,207	6,413	0	0	100.0
	計		208,141	47,521	154,207	6,413	0	0	100.0
合 計			22,408,721	10,323,992	9,971,180	2,113,549	0	0	100.0

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分 \ 項目	組合員数	引 受 棟 数	引 受 面 積	共済価額	共済金額	徴収共済 掛金(A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
	人	棟	m <sup>2</sup>	千円	千円	円	円	円
ガラス室 I類	40	113	18,999	174,411	131,647	115,167	90,967	206,134
ガラス室 II類	48	112	56,806	656,878	522,205	229,350	151,529	380,879
プラスチックハウス I類	12	34	5,569	23,436	18,728	48,061	38,025	86,086
プラスチックハウス II類	825	2,215	774,513	1,439,630	1,135,992	9,421,068	2,834,092	12,255,160
プラスチックハウス III類	66	92	83,622	394,117	308,762	893,829	668,256	1,562,085
プラスチックハウスIV類甲	54	89	69,364	291,888	233,462	141,541	330,814	472,355
プラスチックハウスIV類乙	10	21	15,675	115,609	92,475	467,443	94,362	561,805
プラスチックハウス V類	43	56	38,032	243,911	195,106	137,694	99,832	237,526
プラスチックハウス VI類	95	673	135,931	188,715	146,555	1,701,444	539,694	2,241,138
プラスチックハウス VII類	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	延 1,193	3,405	1,198,511	3,528,595	2,784,932	13,155,597	4,847,571	18,003,168

事項 \ 項目	組合員数	引 受 棟 数	引 受 面 積	共済価額	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) ± (B)
前年度対比 (%)	102.8	100.3	101.9	114.7	114.9	103.0	96.6	101.2
事業計画対比 (%)		100.2			118.7	99.3	129.6	105.9

引受状況

県下の栽培農家の高齢化等による引受の減少はあるものの、集団加入等を活用した加入推進による新規加入により、引受戸数は、1,193戸(前年対比32戸増)、引受棟数は、3,405棟(前年対比10棟増)、引受面積は、1,198,511m<sup>2</sup>(前年対比22,105m<sup>2</sup>増)となった。

## (被 害)

施設区分 項目	被 害			損害の額	共 済 金						共済金
	組合員数	棟 数	附帯施設数		特 定 園芸施設	附帯 施設	復旧 費用	撤去 費用	施設内 農作物	合 計	共済金額
	人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	%
ガ ラ ス 室 I 類	4	5	0	281, 124	179, 917	0	0	0	0	179, 917	0. 1
ガ ラ ス 室 II 類	1	1	0	107, 284	0	0	0	0	85, 827	85, 827	0. 0
プラスチックハウス I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
プラスチックハウス II 類	48	61	1	4, 207, 275	3, 199, 396	2, 541	0	0	110, 025	3, 311, 962	0. 3
プラスチックハウス III 類	4	4	0	186, 530	128, 599	0	0	0	0	128, 599	0. 1
プラスチックハウスⅣ類甲	6	7	1	896, 355	412, 982	202, 772	101, 327	0	0	717, 081	0. 2
プラスチックハウスⅣ類乙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0. 0
プラスチックハウス V 類	3	3	0	119, 762	95, 808	0	0	0	0	95, 808	0. 1
プラスチックハウス VI 類	9	12	0	425, 604	223, 714	0	0	0	115, 570	339, 284	0. 2
合 計	75	93	2	6, 223, 934	4, 240, 416	205, 313	101, 327	0	311, 422	4, 858, 478	0. 2
前年度対比 (%)	125. 0	110. 7	200. 0	19. 5	25. 9	2. 5	∞	—	28. 7	19. 0	—

## (被害および評価の概況)

風害による被害で82棟、施設内農作物の病虫害による被害で3棟、その他の原因8棟で支払った。

## (支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金
	保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	共済金
円	円	円	円	円	円	%
4, 858, 478	511, 808	4, 346, 670	0	0	0	100. 0

## (損害防止)

加入棟を対象に土壌分析を実施し、土壌診断処方箋を組合員に配布した。

(6) 任意共済関係

1. 建物共済

(引 受)

	加入棟数	共済金額	共済掛金			1 棟当たり 平均共済金額	保険料	保険手数料
			純共済掛金	賦課金	計			
	棟	千円	円	円	円	千円	円	円
農家建物	95,847	973,206,570	554,020,175	396,171,394	950,191,569	10,154	296,825,470	108,284,644
前年度対比(%)	96.9	96.5	99.9	97.8	99.0	99.6	99.7	98.0

引受の概況

引受共済金額は9,732億円で、352億円（前年度比96.5%）の減少となった。また、1戸平均は1,872万円で18万円の減少となった。

(事 故)

	事故棟数	加入総共済 金額（イ）	支払共済金（ロ）			保険金	被害率 $\frac{(\text{ロ})}{(\text{イ})}$	備 考
			火災等	自然災害	計			
	棟	千円	円	円	円	円	%	
農家建物	324	973,206,570	229,970,749	10,998,611	240,969,360	72,290,666	0.02	
前年度対比(%)	74.0	96.5	34.8	10.5	31.4	31.7	25.0	

事故の概況

事故棟数は324棟で、前年対比74%と減少した。原因別の件数は、その他（落雷等）による被害が全体の67.9%を占めた。

支払共済金は、2億4,096万円で前年対比31.4%となった。

(建物共済原因別事故発生状況) 農家建物

事故の原因別	事故棟数	加入総共済 金額（イ）	支払共済金 （ロ）	保険金	被害率 $\frac{(\text{ロ})}{(\text{イ})}$	備 考
火 災	25		189,799,681			
自然災害	79		10,998,611			
そ の 他	220		40,171,068			
合 計	324	973,206,570	240,969,360	72,290,666	0.02	



2. 農機具共済

(引 受)

	加入台数	共済金額	共済掛金			1 台当たり 平均共済金額
			純共済掛金	賦課金	計	
	台	千円	円	円	円	千円
農機具共済	7,385	14,884,980	52,651,387	22,101,619	74,753,006	2,016
前年度対比 (%)	102.3	105.6	109.4	106.9	108.6	103.2

引受の概況

加入台数は7,385台で、167台（前年対比102.3％）の増加となった。加入共済金額は148億円で、7.8億円（前年対比105.6％）の増加となった。

(事 故)

	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)			被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
			接触等	自然災害	計		
	台	千円	円	円	円	%	
農機具共済	211	14,884,980	34,733,450	11,968,547	46,701,997	0.31	
前年度対比 (%)	76.4	105.6	95.8	12.7	35.8		

事故の概況

事故台数は211台で、前年対比76.4％と減少した。原因別の件数では、接触事故が55.9％、異物の巻き込みが18％を占めた。支払共済金は、4,670万円で8,380万円（前年対比35.8％）の減少となった。

(農機具共済原因別事故発生状況)

事故の原因別	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
	台	千円	円	%	
接触	118		10,744,931		
異物の巻き込み	38		5,221,393		
衝突	19		5,918,628		
墜落	7		4,481,497		
転覆	10		6,076,850		
火災	2		73,868		
自然災害	13		11,968,547		
獣害	2		296,283		
盗難（盗取）	2		1,920,000		
合 計	211	14,884,980	46,701,997	0.31	

(7) 農機具更新共済関係

加入台数	共済金額	共済掛金			1台当たり 平均共済金額
		純共済掛金	賦課金	計	
台	千円	円	円	円	千円
0	0	0	0	0	0

引受の概況

引受を実施していません。

(事 故)

事故台数	期間満了台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金			被害率 $\frac{(ロ)}{(イ)}$	備 考
			接触等・自然災害 (ロ)	期間満了に よるもの	計		
台	台	千円	円	円	円	%	
0	0	0	0	0	0	0.00	

事故の概況

引受を実施していません。

## (8) 業務関係

ア. 重要な処理事項（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
平成31年 4月1日	辞令交付	6月17日	農林水産省主催農作物共済研修会（～20日）
〃	第1回理事会	6月18日	臨時監査（新見支所、蒜山診、真庭支所、真庭診）
4月2日	支所長・グループ長会議	6月19日	臨時監査（北部基幹診、津山支所、勝英支所、生産獣医療）
4月4日	新任者講習会（～5日）	6月20日	全国連主催収入保険担当者会議（～21日）
4月9日	事業別担当者会議（～15日）	6月21日	臨時監査（西部診、高梁支所、井笠支所、西部基幹診）
4月12日	家畜診療所長会議	6月23日	事務職員採用1次試験
4月17日	総代選挙公告	6月25日	NOSAI協会通常総会、全国連通常総会、全国組合長会議
4月18日	全国広報参事等会議	〃	臨時監査（南部診、東備支所、倉敷支所）
4月19日	家畜損防・分科会主任者会議	6月27日	中国地区家畜共済担当者会議（～28日）
〃	都道府県主管課長及び農業共済団体参事会議	6月28日	臨時監査(会計)
4月22日	総代選挙期日	7月1日	任意共済損害評価研修会（落雷、農機具）
4月26日	監事会、決算監査（旧岡山地区）	7月2日	支所長会議
令和元年 5月9日	支所長会議	〃	農林水産省主催園芸施設共済研修会（～5日）
5月10日	中国地区組合長会議（～11日）	7月3日	中国地区収入保険担当者会議
〃	決算監査（旧連合会）	7月5日	臨時監査報告会
5月13日	獣医師職員採用1次試験	7月8日	内部監査（家畜診療所）（～24日）
5月14日	損害評価会全体会議	7月9日	令和元年度家畜診療技術研究発表会
5月15日	第2回理事会	〃	事務職員2次試験
5月16日	麦見回り調査	〃	果樹共済（もも）損害評価現地研修会
〃	家畜診療所長会議	7月10日	業務運営に関するヒアリング(農林水産省)
5月21日	ぶどう見回り調査	〃	全国参事会議
5月22日	令和元年度予算ヒアリング(県組合指導課)	〃	もも見回り調査(12日)
5月24日	職員コンプライアンス研修会(27日)	7月16日	損害評価会園芸施設共済・任意共済部会
5月28日	麦見回り調査（小麦）	7月17日	収入保険担当者会議
5月31日	第1回通常総代会	7月18日	水稻共済担当者会議
〃	役員互選会議	7月22日	第3回理事会
6月4日	園芸施設共済現地研修会	7月23日	農林水産省主催畑作物共済研修会（～26日）
6月6日	支所長会議	7月31日	辞令交付
6月11日	農林水産省主催果樹共済研修会（～14日）	〃	任意共済事業推進担当者会議（NOSAI協会）
〃	新規獣医師等臨床基礎研修	8月1日	内部監査(支所）（～30日、9月2日）
6月13日	農作物共済担当者会議	8月2日	岡山県獣医三学会

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項
8月6日	「安心の未来」拡充運動全国推進会議	10月15日	中間監査（倉敷支所、真庭支所）
〃	家畜診療所長会議	〃	システム運用管理者養成研修会（～18日）
〃	果樹共済（ぶどう）損害評価現地研修会	10月16日	事務職員採用2次試験
8月7日	支所長会議	〃	畑作物（大豆）共済現地研修会
〃	中国地区農業共済を考える会	10月17日	岡山県常例検査（18日、24日、30日）
8月9日	職員研修会（青色申告及び軽減税率等について）（23日、30日）	〃	中間監査（高梁支所、津山支所）
8月16日	中国地区広報担当者会議（～17日）	10月23日	中間監査（井笠支所、勝英支所）
8月19日	ぶどう見回り調査（津山、真庭）	10月24日	辞令交付
〃	園芸施設共済担当者会議	〃	任意共済全国研修会
8月20日	獣医師採用試験	10月25日	第4回理事会
8月20日	ぶどう見回り調査（新見市）	10月28日	中間監査（新見支所）
8月22日	損害評価会麦共済部会	〃	中堅獣医師講習会、高度獣医療技術研修（～11月1日）
8月26日	ぶどう見回り調査（井笠、高梁）	10月31日	中間監査（本所）
9月2日	辞令交付	〃	中国地区建物共済地震災害評価研修会（～11月1日）
9月4日	全国連臨時総会、全国組合長会議	11月6日	農作物共済担当者会議
9月5日	支所長会議	〃	中国四国地区家畜共済地区別協議会
9月9日	第2回普及推進研修会（中級コース）（～13日）	11月7日	岡山県常例検査（14日、22日）
9月12日	内部監査（本所）（～30日）	11月8日	支所管内総代会議（高梁支所、井笠支所）
9月13日	臨時会計監査	11月11日	支所長会議
9月17日	第1回初級管理職研修会（～20日）	〃	システム管理者養成研修会（運用指導者コース）（～14日）
9月18日	中国地区組合長会議	11月12日	支所管内総代会議（津山支所、勝英支所）
9月25日	農業保険外交員養成研修（NOSAI協会）	〃	大豆見回り調査（津山、勝英）
9月26日	全国連主催収入保険担当者会議（～27日）	〃	中間監査（東備支所）
〃	第1回退職給与金施設運用委員会	11月13日	家畜診療所長会議
9月29日	事務職員採用1次試験	11月15日	支所管内総代会議（真庭支所、東備支所）
9月30日	産業動物臨床・家畜共済委員会	11月18日	損害評価会麦共済部会
10月1日	農林水産省収入保険推進キャラバン（～2日）	〃	建物共済専門講習会（～22日）
10月4日	水稲見回り調査(8日)	11月19日	支所管内総代会議（新見支所）
10月8日	支所長会議	11月21日	支所管内総代会議（倉敷支所）
10月9日	監事会	11月22日	支所管内総代会議（普及推進課）
〃	全国参事会議	11月22日	中国地区総務・経理担当者会議（～23日）
〃	中間監査（普及推進課）	11月26日	任意共済事業推進担当者会議（NOSAI協会）
10月10日	令和2年度予算要請活動（県選出国会議員）	11月29日	損害評価会果樹共済部会

年 月 日	処 理 事 項	年 月 日	処 理 事 項	
11月29日	第2回臨時総代会	2月17日	支所長会議	
12月2日	ばれいしょ見回り調査	〃	人事評価研修会	
12月3日	全国NOSAI大会、NOSAI職員全国研修集会	2月18日	農業共済新聞全国研修会（～19日）	
〃	家畜診療担当職員研修会（～5日）	2月19日	全国広報委員会議、中国地区広報担当者会議（～20日）	
12月10日	支所長会議	〃	第3回全国参事会議	
12月12日	任意共済担当者会議	2月25日	農林水産省主催家畜共済研修会（～28日）	
12月13日	辞令交付	2月26日	情報セキュリティ研修(27日、28日)	
〃	損害評価会家畜共済部会	2月28日	損害評価会果樹共済部会	
12月16日	岡山県常例検査(17日、18日、19日、23日)	〃	産業動物臨床・家畜共済委員会	
〃	損害評価会水稻共済部会	3月2日	家畜診療所運営委員会	
12月18日	第2回退職給与金施設運用委員会	〃	損害評価会家畜共済部会	
12月20日	中国地区広報参事会議	3月3日	内部監査（家畜共済グループ・診療課）	
12月23日	全国連臨時総会・全国組合長会議	〃	収穫共済担当者会議	
12月25日	農作物共済担当者会議	〃	獣医師採用試験	
令和2年	1月10日	内部監査（真庭診、蒜山診）	3月5日	N O S A I 情報化全国会議
	1月12日	事務職員採用1次試験	〃	第6回理事会
	1月16日	全国連主催収入保険担当者会議（～17日）	3月6日	内部監査（企画情報グループ）
	〃	支所長会議	3月9日	家畜共済担当者会議
	1月20日	内部監査（南部診、生産獣医療）	〃	支所長会議
	1月23日	事務職員採用2次試験	3月10日	内部監査（総務グループ）
	1月24日	都道府県農業共済担当者及び総務・指導担当者合同会議	3月11日	事務費賦課承認事前協議（県組合指導課）
	〃	収入保険事業担当者会議	3月12日	衛生管理委員会
	1月28日	内部監査（北部基幹診）	3月13日	内部監査（資産共済グループ）
	1月30日	内部監査（西部基幹診、西部診）	3月16日	内部監査（収入保険グループ）
	1月31日	第5回理事会	3月17日	第3回臨時総代会
	〃	役員コンプライアンス研修会	3月19日	内部監査（収穫共済グループ）
	2月4日	内部監査（支所）（～28日）	3月23日	中国地区農業共済を育てる会
	2月7日	家畜診療所長会議	3月24日	NOSAI協会臨時総会、全国連臨時総会、全国組合長会議
	2月10日	支所長会議	3月27日	中国地区農業共済組合参事会議
	2月14日	損害評価会水稻共済部会	3月31日	辞令交付

## イ 総 代 会

### (ア) 第1回通常総代会（令和元年5月31日）

総代会日現在総代数	128人
本人出席	108人
代理出席	0人
書面出席	19人
出席者計	127人

#### 重要な議事及び議決事項

- 第1号議案 平成30年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案（不足金処理案）の承認について
- 第2号議案 令和元年度事業計画、業務収支予算案及び家畜診療所収支予算案の承認について
- 第3号議案 令和元年度事務費賦課金の徴収額及び徴収方法について
- 第4号議案 特別積立金の取崩しについて
- 第5号議案 家畜共済法定積立金及び特別積立金の家畜診療所勘定への繰入れについて
- 第6号議案 役員及び顧問報酬額、損害評価会委員、損害評価員、共済連絡員並びに家畜診療所運営委員手当額について
- 第7号議案 役員退任慰労金について
- 第8号議案 岡山県農業共済組合事業規程の一部改定について
- 第9号議案 令和元年度借入金の最高限度額及び借入先について
- 第10号議案 令和元年度余裕金預入先について
- 第11号議案 建物総合共済の連合会等保有責任部分の一部を全国連合会の保険に付すこと及びこれに伴う基本契約書の変更について
- 第12号議案 損害評価会委員及び家畜診療所運営委員の選任について
- 第13号議案 役員の選任について

#### 附帯決議

### (イ) 第2回臨時総代会（令和元年11月29日）

総代会日現在総代数	128人
本人出席	13人
代理出席	0人
書面出席	102人
出席者計	115人

#### 重要な議事及び議決事項

- 第1号議案 家畜共済危険段階別共済掛金率の設定について

#### 附帯決議

### (ウ) 第3回臨時総会（令和2年3月17日）

総代会日現在総代数	128人
本人出席	3人
代理出席	0人
書面出席	113人
出席者計	116人

#### 重要な議事及び議決事項

- 第1号議案 岡山県農業共済組合事業規程の一部改正について
- 第2号議案 職員給与規則の一部改正について
- 第3号議案 損害評価会委員の選任について

#### 附帯決議

ウ 組合員の増減 (人)

年度始組合員数	年度末組合員数	増減	摘要
49,645	61,129	11,484	年度始組合員数は年度当初の加入者である。

エ 役職員その他

(ア) 役職員 (人)

役員数		理事		監事		合計			
		16		3		19			
職員数	部署 性別	参事	総務部	事業部	家畜部	普及推進部 (普及推進課・支所)	生産獣医療支援センター 及び家畜診療所	監査室	計
	男	1	7	10	5	82	29	2	136
	女	0	8	5	2	34	18	0	67
	計	1	15	15	7	116	47	2	203

※役員は非常勤のみ

※臨時・嘱託職員を含む

(イ) 職員勤務場所 (人)

性別	配属	本所	普及推進部 (普及推進課・支所)	生産獣医療支援センター 及び家畜診療所	計
男		25	82	29	136
女		15	34	18	67
計		40	116	47	203

オ 総代、損害評価会委員、損害評価員、共済連絡員 (人)

総代	損害評価会委員	損害評価員	共済連絡員
128	403	3,476	2,228